



大樹のこころ

光学級入学式

この春の異動で六名小学校より校長として赴任いたしました。歴史と伝統のある大樹寺小の一員となったことを、とても嬉しく思っています。子供たちの健全育成のために全力で頑張っていきます。よろしくお願いいたします。学校での子供たちの様子や教育に関する自分なりの考えなどを、保護者の皆様にお伝えするために、校長室だよりを発行していきます。不定期となりますが、ご愛読いただければと思っています。

さて、大樹寺小には「光学級」というクラスがあります。光学級とは韓国の文化を学ぶもので、月に1回程度行われます。大樹寺小では数十年前から、このように韓国について学ぶ事業を行っています。光学級には、高学年で希望する児童が参加します。今年度も希望者が殺到しましたが、充実した授業を行うために人数を制限して5・6年生25名が入級することになりました。

5月9日(月)に、その光学級の入学式がありました。本来ならば韓国領事館から領事も参加しますが、現在コロナ禍ということで見合わせ、民団の岡崎支部団長の朴茂秋様と光学級で指導をくださる黄美京先生をお招きして行われました。参加する25名の子供たちの顔は、希望に満ち溢れており、とても緊張感のある入学式となりました。この雰囲気から光学級で学ぼうとする子供たちの意欲を感じました。光学級では、韓国の文化を学んでいきます。1学期には主に韓国語を学びます。2学期以降は、韓国の食事や遊び・歌などを体験を通して勉強していきます。入学式で代表児童が誓いの言葉の中で「韓国のお菓子作り」が楽しみと述べたのが印象的でした。

入学式が終わると、黄先生と光学級担当の中谷先生による第1回目の授業が始まりました。最初の授業は始業と終業の挨拶の仕方です。「スーセンニン(先生) アニョハセヨ(こんにちは)」「スーセンニン(先生) カムサムニダ(ありがとうございます)」と何度も繰り返し練習しました。数年前から小学校英語が始まり、英語の学習には慣れてきましたが、韓国語の授業はとても新鮮。この光学級での学びを通して、子供たちが隣の国の文化に興味を抱いていくことを期待しています。



【大樹寺小のいいところ発見】

正門前の大樹寺や校庭にある総門、そして正門の学校看板などを眺めていると、心が落ち着きます。京都にいるように錯覚してしまいます。